



不倫人妻調教物語
杉原京子編(6)

不倫人妻調教物語



杉原京子編(6)



前回までのあらすじ

36歳の人妻、杉原京子(すぎはらきょうこ)はジムのインストラクターの速水良樹(はやみよしき)と不倫関係になる。

しかも、M女調教プレイを繰り返していた。

夫である杉原英輔(すぎはらえいすけ)はその事実を知り、ショックを受けたが、それ以上に妻が犯される姿を想像することで興奮する自分に驚いていた。

英輔は、京子を問い詰め、不倫があつたことを確認する。

それと共に、普段清楚な京子の淫らな姿に性的興奮を覚えた。

M女の欲望を抑えつけない京子は、本格的な調教プレイを英輔に切望。

夫婦は調教プレイで強く結ばれる。

自身の寝取られ願望性癖に気づいた英輔は、速水との複数プレイを依頼した。

指定されたホテルに行く時、見知らぬ女性たちがいて……

解説の視点

京子は、幼い頃から、
自分を出すことが
苦手だった。

ホー

ハ

ハ

素直になれず、
友達の輪に入る
ことができなかった。

容姿に恵まれていて、
デート相手は
すぐにできるが、

しばらくすると
去っていった。

一緒にいても、
なんか、楽しく
ないんだ

しかし、
英輔は違った。

はは
はは

英輔は、相手の話を
聞くよりも、話す方が
好きで、

自分を隠したい京子に
とっては、相性の良い
相手だった。

あー

しかし、夫婦になっても
心を開かない京子に対し、
英輔は、不満を感じる
ようになっていた。

だが……

体の自由を奪われ、
股間の痛みに
耐える京子。

自分を隠す余裕など
もはやなかった。

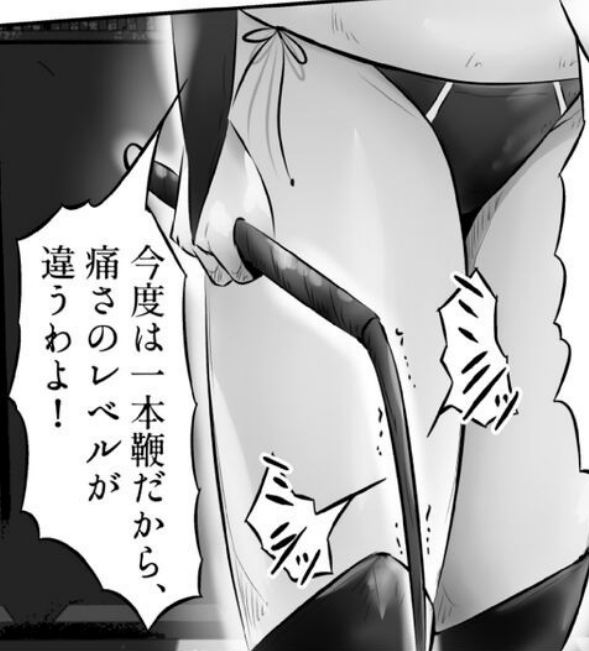


だらしなく涙と
涎を流し、
理性は痛覚に
支配されていた。



泣き叫び、身悶える
妻の姿に、英輔は
心配しつつも高い
興奮を感じていた。

まだまだ、これからが
本当のおマンコ調教よ!



今度は一本鞭だから、
痛さのレベルが
違うわよ!



ヒュンと鋭い音を出した鞭は、京子の柔らかい腹部へと食い込んだ。

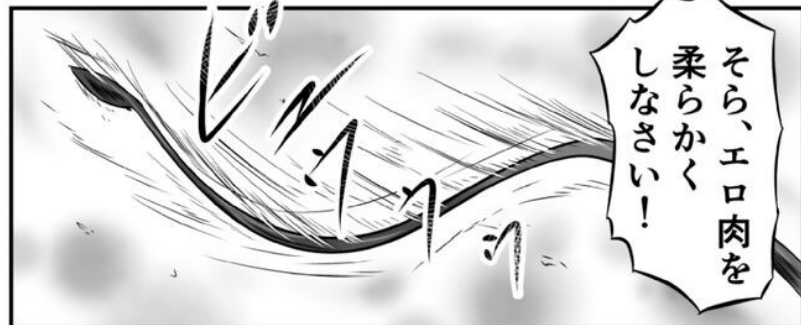
電気ショックのような、弾ける痛みが京子を襲った。



無数の針で刺されたみたいでしょ



痛みの衝撃は京子の全身を痙攣させた。



そら、エロ肉を柔らかくしなさい！

さらに、一本鞭の
痛みが京子を襲う。



狭い部屋に、
京子の叫び声
響いた。



全身を包む痛み
に、京子は理
性的な思考を
保ちづらくな
っていた。





ところで、奥様が、他の人に犯されているのを

見てみたいということですが

しん



……可能なら

らむ



本当に、大丈夫なのか？

問題ありません

傷跡は一週間くらいで消えるし

木馬には、そんなに体重がかからなくしてますから

ちゅ

ちゅ



英輔は、不安を感じながらも興奮していた。

しん

それは勃起し続けるペニスが証明していた。



かしこまりました

用意する間、詩織の尻でも叩いてあげてください



ぶら

京子はそそり立つ
速水のペニスの
上にまたがった。

ゴッ

全身の痛みは
ひいていなかったが、
マンコに熱いものを
感じていた。

英輔の視線を
感じると、さらに
体が火照ってきた。



京子は、膣奥まで刺さった肉棒を味わった。

ほら、気持ちいいわね

痛みに耐えたご褒美よ

痛みの中で快感が余計に強く感じられた。



肉棒の刺さったおマンコを、しっかりと旦那様に確認してもらいましよう

英輔は、肉棒をほおぼり広がる妻のおマンコに、高い興奮を感じていた。



英輔のペニスは、詩織の口いっぱい大きく膨らんだ。



前でよく見てあげてください

おっ

ちゅっ

速水はペニスを打ち付けるように、激しく挿入した。



痛みの中に沸き上がる快感は、京子の快楽神経を狂暴に刺激した。



体温が上昇し、性器は濡れ、悦楽波動が体内を駆けめぐっていた。

あなた……、恥ずかしい……



夫に見られることで、京子の体はより興奮度を増した。

ああ、凄い

後ろの穴も
確認しないとね

エロ子は特大の
ペニスバンドを
装着した。

京子を抑えて、
アナルへと
ディルドを
添える。

ディルドは
モーター内蔵の
特製だった。

あーん
んんん

ディルドは拡張
された京子の
アナルにするすると
入っていった。

京子は、じんわり
としたアナルの
快感を感じていた。

旦那様によく
見てもらい
ましょう

んんん
んんん

んんん
んんん

英輔は、妻の肉穴を覗き込んだ。

京子のアナルとおマンコは広がり、肉棒をしつかりと啜え込んでいた。



どうですか？
奥様の肉穴は

濡れ、光る淫部に、
英輔は大きな
性的魅力を感じた。

凄い。
ああ、興奮する

お
お

と
と

と
と





ああ、あなた、
恥ずかしい……

あ

京子は恥ずかしさ
と共に、不安を
感じていた。

嫌いにならない？
嫌いにならない？

嫌いになる
ものか

凄く
かわいいよ

しかし、
英輔の言葉を
聞くと、安堵し、
再び性的興奮を
意識した。



ああ、
嬉しい



あんたは
そんなこと
気にしないで

気持ちよく
なっていれば
いいのよ！

エロ子がデイルドを
強くねじ込むと、

京子はアナルと
マンコに激しい
快感を覚えた。

あ
あ
あ



エロ子は、デイルドの
スイッチを入れた。

肉穴がビクビク
しているわよ!

強烈な振動が、
京子のアナルを
襲った。

あ! あ!
アナル!
アナルが!

ペニスの入った
マンコにも、その
振動は響き、

ピストン運動が
なくても、膣肉の
快感神経が
刺激された。

ああ、
凄い……

射精したければ、
奥様の口内に
どうぞ

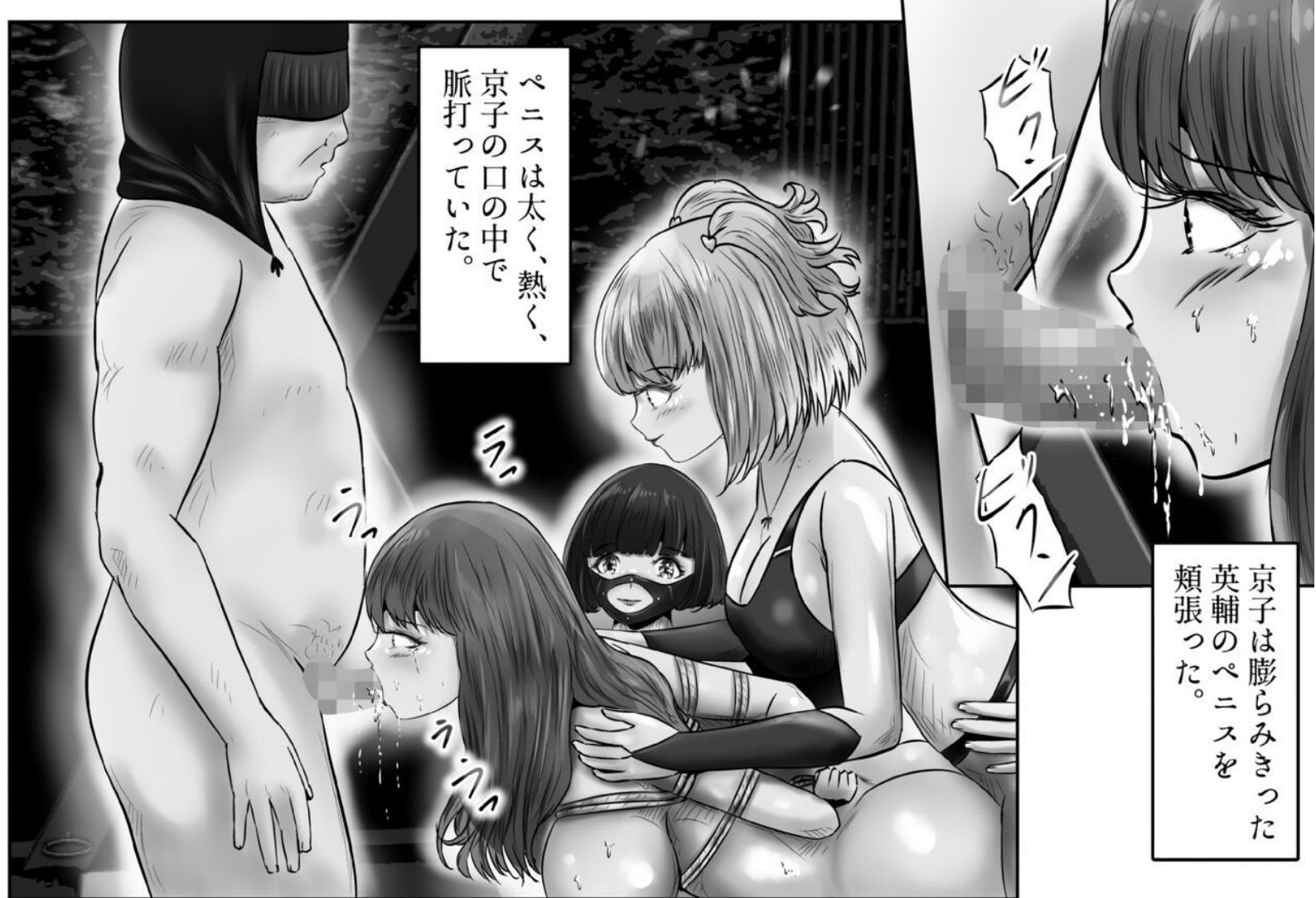
英輔は、痙攣し、
愛液を溢れさせる
京子の秘部に
激しく興奮して
いた。

いいの??

あ

あ

欲しい!
英輔さんのおチンポ
欲しいです!!



ペニスは太く、熱く、
京子の口の中で
脈打っていた。

京子は膨らみきった
英輔のペニスを
頬張った。

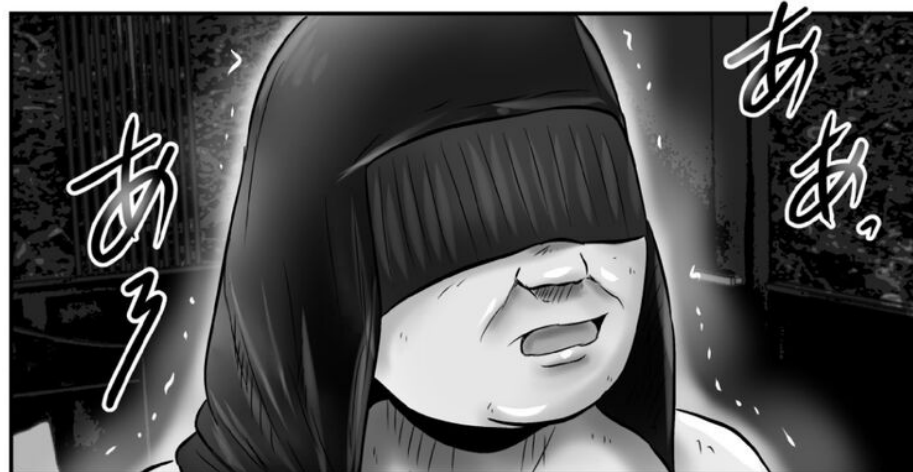


犯されている妻に
フェラチオさせる。

その行為に、英輔は
背徳感と共に高い
性的興奮を感じた。



京子は、おまんこと
アナルを犯されながら、
一生懸命にペニスを
しゃぶり、舐め回した。





英輔は、大量の精子を、京子の口内に噴出した。



熱い精子が、京子の性感帯を刺激する。



愛液と精液の匂いが、京子をさらに欲情させていた。

旦那様に、直接肉穴を確認してもらいましょう



休んでいる暇はないわよ

不倫人妻調教物語



杉原京子編(6)



前回までのあらすじ

36歳の人妻、杉原京子(すぎはらきょうこ)はジムのインストラクターの速水良樹(はやみよしき)と不倫関係になる。

しかも、M女調教プレイを繰り返していた。

夫である杉原英輔(すぎはらえいすけ)はその事実を知り、ショックを受けたが、それ以上に妻が犯される姿を想像することで興奮する自分に驚いていた。

英輔は、京子を問い詰め、不倫があつたことを確認する。

それと共に、普段清楚な京子の淫らな姿に性的興奮を覚えた。

M女の欲望を抑えつけない京子は、本格的な調教プレイを英輔に切望。

夫婦は調教プレイで強く結ばれる。

自身の寝取られ願望性癖に気づいた英輔は、速水との複数プレイを依頼した。

指定されたホテルに行く時、見知らぬ女性たちがいて……

京子の視点

私は昔から、
自分を出すことが
苦手だった。

ホー

素直になれず、
友達の輪に入る
ことができなかった。

デートには頻繁に
誘われたが、

しばらくすると
去っていった。

一緒にいても、
なんか、楽しく
ないんだ

でも、英輔さんは
違った。

はは

はは

英輔さんは、相手の
話を聞くよりも、話す
方が好きで、

私にとっては、相性の
良い相手だった。

あー

けれど、
夫婦になってから、
少しずつ、英輔さんが
冷たくなっていった
気がする。

きっと、自分を隠す
私に不満があった
のだと思う……

でも……



風を切る
鞭の音が怖い！

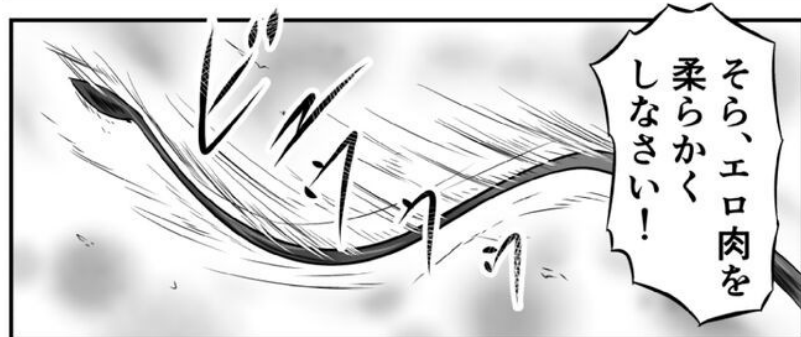
ああ！ 何!?
お腹が裂けた
みたい!!



無数の針で
刺されたみたい
でしょ



うっあつ、
股間の痛みが
分からなくなる
くらい痛い……



そら、エロ肉を
柔らかく
しなさい！

痛い！怖い！痛い！
それだけ！！



ああっ！
もう骨が軋む
くらい痛いよ！！

だめ！
もう、何も
考えられない……



ああ、どうとう夫に
他の人とのセックスを
見られてしまう……

ゴッ

嫌なのに、なぜか
見て欲しいと
思ってしまう……

痛みよりも、
おマンコのうちぎきの
方が強い……



ああっ！ あっ！
何これ!?
凄い気持ちいい!
気持ちいいよ!!

ほら、気持ち
いいわね

痛みに耐えた
ご褒美よ

痛みが感じなくなる
くらい、気持ちいい!!



肉棒の刺さった
おマンコを、
しっかりと旦那様に
確認してもらい
ましょう

あぁ、
夫に見られて
余計に感じちゃう!



夫にも感じて
欲しい……

後ろの穴も
確認しないとね

ああ、
今度は何？

アナル？
アナルまで
犯されるの……？

おマンコだけで、
凄く感じて
しまうのに……

あーん
んんん

んんん

ああ、太い。
やだ、気持ち
いい……

私、夫に見られ
ながら、おマンコも
アナルも犯され
てる……

はあ
はあ

はあ
はあ

旦那様によく
見てもらい
ましょう

んんん

んんん

ああ、いや……、
英輔さんに広がる
アソコ、見られている。

恥ずかしいのに
感じてしまう。
頭がクラクラする。



どうですか？
奥様の肉穴は



凄い。
ああ、興奮する



ああ、私、
凄く濡れてる……



夫の言葉が
嬉しい。
凄く感じて
しまう……

嫌いになる
ものか

凄く
かわいいよ

ああ、
嬉しい



ああ、あなた、
恥ずかしい……

あ

ああ、夫に肉棒が
挿入されたおマンコ
を見られるなんて……

嫌いにならない？
嫌いにならない？



ヤ



あ
あ
あ

あんたは
そんなこと
気にしないで

気持ちよく
なっていれば
いいのよ！

うあっ！ あっ！
体の内側から
エッチな気持ちよさが
沸き上がってくる！

肉穴がビクビク
しているわよ!

ああっ!
うわっ!
何これ! 凄い!
アナルもおマンコも
気持ちいい!

あ! あ!
アナル!
アナルが!

あっあっ!
下腹部が熱い!
熱いよ!!

ああ、
凄い……

射精したければ、
奥様の口内に
どうぞ

ああ、
おチンチン欲しい。
夫のおチンチン、
しゃぶりたい……

いいのか?

あ

あ

欲しい!
英輔さんのおチンポ
欲しいです!!

私で興奮してくれたのなら、凄く嬉しい。
ああ、感じてしまう。

凄い！
英輔さんのおチンチン、
もの凄く膨らんでる！

こんな変態プレイ
なのに、
体は痛いのに、

心はもの凄く
満たされて
いく……

私、犯されながら、
夫のおチンチン
しゃぶってる……

あ
あ
あ

あ
あ



ああっ！
凄い、凄い量
の精子！！



旦那様に、直接
肉穴を確認して
もらいましょう

